

<スタッフ紹介>

役 職	スタッフ名
センター長兼理事兼副病院長 兼血液内科主任部長兼薬剤管理センター長	烏野 隆博
副センター長兼総合内科・感染症内科部長 兼感染症センター長兼院内感染対策室長 兼産業医	倭 正也
副センター長兼診療局長 兼心臓血管外科主任部長兼ICU/CCUセンター長 兼心臓・血管センター長兼医療安全管理室長 兼患者サポートセンター長	船津 俊宏
参事兼事務局総務監	藤原 義弘
主査兼総務課総務係長	前田 廣明
事務員	2名

研修医	研修医
堀部 朋哉	大橋 和佳子
花岡 憲晟	有吉 和範
宮田 大道	小淵 登生
中村 舞	岩田 真奈
西秦 智哉	西尾 純霞
飯田 翔子	大西 唯月
大倉 裕矢	岩本 雄介

<特色と概要>

2019年10月に前期研修、後期研修、医師の生涯研修をより充実したものとし、研修医、専攻医にとって魅力ある臨床研修プログラムの構築を行うことを目的に臨床研修センターを開設した。

これからの臨床医は前期研修・後期研修での経験をもとに、多彩なキャリアパスの中から自分の目指した医師像に近い道を選択していくこととなる。それは地域医療への貢献や高度先進医療の実践あるいは研究者としてのアカデミズムの追求などである。これらの基礎となる臨床能力を十分に養うため、そして研修医の意見も取り入れて、分野横断的な教育・研修を推進していく。さらに、このような研修を通して、人格を養い、技量を習得し、さらにリーダーシップの発揮できる医療人になれることを目標とし、研修医が思い描いている「理想の医師像」に着実に近づいていけるようにサポートしていく。

【研修理念】

地域医療から国際診療までを担える視野を持ち、安心かつ良質な医療をチームと協調して提供できる総合力と人格を育む。

【研修基本方針】

- 患者の心身を預かるにふさわしい人格を育む
- 全人的に対応できるリーダーシップを育む
- チーム医療を実践する統率力を育む
- 地域医療と共に国際診療を担う広い視野を育む

生涯にわたり、学び続ける気概と探求心を育む

<実績>

上記、目標を目指しての研修医教育や環境等が十分に研修に値するとして、外部評価機構である卒後臨床研修評価機構(JCEP)による認定を受けている。今年度は更新年度にあたるため、スタッフはじめ関係部署にて取り組んだ。

学会発表はCOVID-19の対応に追従しつつ、現地開催での学会を中心に参加するなど学会活動を行った。

<今年度の反省と来年度への抱負>

1. 研修医カンファレンス

スライドを使用した症例発表会を1回/月の頻度で開催

2. クリニカルレベルアップセミナー

COVID-19に対する感染対策をした上で、1回/2ヶ月の頻度で再開した。開業医の先生方の参加も増え、今後は例年通りの1回/月の開催に戻していく

3. 初期研修医ワーキンググループによる有意義な研修教育を継続して行う

- ① 座学: 週1-2回とし、2年目初期研修医や後期研修医によるレクチャー
- ② 手技の実習
サザンウィズでシミュレーション機器を利用: 採血、気管挿管、縫合など
- ③ 医療英会話
国際診療科との合同研修として開催
- ④ 教育指針に則り、救急外来での研修に対し計画的に目標をたて実習ならびにその評価をしていく

【反省点】

COVID-19に対する学会への姿勢を変えることができず、積極的に学会参加を各診療科にアナウンス出来なかったため、例年より参加が少なかった。

第118回近畿血液学地方会 優秀演題賞を受賞しました

初期研修医 藤本 凜太郎 医師

令和5年5月27日(土)に大阪国際交流センターにて開催されました第118回近畿血液学地方会にて、3月末日まで当りんくう総合医療センターにて初期研修医として勤務されていた藤本凜太郎先生の発表が、特に優れているとして優秀演題賞を受賞しました。当院在籍時より研修に邁進された結果である受賞をご報告するとともに、藤本先生の新たなステージでのより一層のご活躍を祈念いたします。



藤本凜太郎医師が第118回日本血液学会近畿地方会にて優秀演題賞を受賞しました。
(『RINKU SMILE』2023年秋 Vol.91 より)